

第63期第4回 日本物理学会男女共同参画推進委員会 議事録

日時：2008年8月30日（土）13時より17時

場所：日本物理学会会議室

出席者：田島節子、前田京剛、家泰弘、中島美帆、米永一郎、肥山詠美子、松尾由賀利
野崎光昭、伊藤厚子（ネットコメンテータ）

欠席者：森初果、有光直子、池内了、平田光司

I 報告事項

(1) サブグループ報告（広報SG）：配布資料2、3

田島委員長より、日本物理学会誌に掲載した「男女共同参画推進委員会だより No.5」（森委員執筆：資料2）について、紹介があった。また、内閣府男女共同参画室が実施しているチャレンジ・キャンペーンに対して、日本物理学会は共催団体になっているので、共催団体紹介・メッセージ（資料3）を森委員が執筆し、キャンペーンのウェブサイトに掲載したことも、報告があった。

(2) サブグループ報告（女子高校生啓発SG）：配布資料4

松尾委員より8月14日から16日に国立女性教育会館で実施された「女子中高校生夏の学校」の報告があった。物理学会からの参加者は、有光、松尾、前田、中島の4委員、鳥養、笹尾の2名のネットコメンテータと田中（東北大）、井戸（学習院大）、井上（学習院大）の3名の学生であった。「光とレーザーを操ろう！」というテーマでの実験と、「物理を学ぶとどんな進路があるの？」「超伝導とは」の2つのポスター発表を行った。組織運営において、大学院生の活躍が目覚しく、参加者は皆楽しめたという感想であった。

また、鳥養委員の企画で、韓国物理学会が実施している女子高校生のサマーキャンプ参加者とスカイプで交信し、日韓女子中高校生のテレビ会議が始めて実現したことも報告された。（資料4）

(3) サブグループ報告（学協会連絡会SG）：配布資料5

前田委員より学協会連絡会運営委員会の報告があった。アンケートデータの分析が終わり、報告書としてまとめられた。学協会連絡会HPに電子ファイルで掲載されている。また、アンケート結果に基づく提言は、別途「提言委員会」（物理学会からは田島氏が委員として参加）を設けて、とりまとめた。完成した「要望」（資料5）は、物理学会理事会承認の後、学協会連絡会執行部が内閣府や総合科学技術会議、文部科学省などに提出した。

来る10月7日の学協会連絡会シンポジウムについては、松尾委員がポスター発表を行い、その他ネットコメンテータの登谷、坂東、延與、谷田、常見、田中（次期NC予定）の各氏が出席の予定。

(4) IUPAP WIP 国際会議関連報告 (配布資料 6-1, 6-2)

田島委員長より、10月8日から10日まで韓国ソウルで開催される IUPAP WIP 国際会議の準備状況について、報告があった。物理学会からは、田島、前田、米永、肥山、鳥養の5名が参加する。その他、応用物理学会からは7名、物理教育学会から3名、学生3名が参加し、日本チームの総勢は18名となった。提出した **country paper** (資料6-1) の中のデータについて簡単な説明があった。物理学会員総数は、近年微減しているが、女性会員割合は単調増加していること、学生会員の中の女性割合は、ほぼ一定であり、全会員中の女性割合の約半分であること、が報告された。

(5) 次期委員候補については、まだ確定していないが、一部交代する委員の後任候補について報告があった。64期委員会の委員長は、松尾委員の予定。

II. 審議事項

審議に先立ち、前回議事録(資料1)の承認が行われた。

(1) 学協会連絡会アンケート結果の取り扱いについて (配布資料7、8、9)

(i)学協会連絡会より提案されている「個人情報保護方針案」(資料7)「誓約書」(資料8)について、審議し、承認することとなった。

(ii)物理学会における「アンケート結果のデータベースの管理者」を誰にすべきか、議論した結果、物理学会事務局のどなたかをお願いすることし、田島委員長より永井常任理事に依頼することとなった。

(iii)物理学会には、「個人情報の収集、利用および管理について」という規約が制定されていること、「アンケートによって得られたデータの分析に関するガイドライン」も制定されていること、を確認した。(いずれも学会HPに掲載されている。)

(iv)学協会連絡会のアンケート報告書(公開版)は、印刷した冊子体を1部、物理学会で保管してもらうこととした。物理学会員への報告の学会誌の次回「委員会だより」は、アンケート結果の報告に関する記事とするよう委員長から要請があった。

(v) 物理学会員分だけの生データを受け取っているの、それを分析するか否かについて議論した結果、分析の一部を外注によって行い、4年前の結果と比較してみるという結論になった。来期の予算申請に役務費として申請する。

(2) 今後の活動について

次回年会でのシンポジウムは、物理教育委員会と合同で開催する方向で検討することとなった。また、年会だけに限らず、分科会においても、会場となる府県の中学・高校教員を対象に、交流会やシンポジウムを開催するのがよい、との提案もあった。

また、HPに、委員会理念を掲載すべきである、との意見があった。

資料 1 : 前回議事録

資料 2 : 物理学会誌記事 “男女共同参画推進委員会だより No.5”

資料 3 : 内閣府チャレンジ・キャンペーン

資料 4 : 女子中高校生夏の学校報告 (鳥養氏メモ)

資料 5 : アンケート分析に基づく「要望書」

資料 6-1, 6-2 : ICWIP (IUPAP) Proceedings

資料 7 : 個人情報保護方針案 (学協会連絡会)

資料 8 : 制約書 (案)

資料 9 : 個人情報保護関係重要審議事項 (学協会連絡会からのメール)

以上